

しんいちほ

# 議会きぎです

From 500 City Assembly



曾於市議会だより

第78号

令和6年11月15日  
発行



青柚子の出荷が始まる (P24参照)

## 目次 CONTENTS

02-05 Topics 第3回定例会

06-09 決算審査特別委員会

10 議決結果

11-20 市政を問う 9名の議員が登壇

21-22 各常任委員会閉会中所管事務調査報告

23 議員研修

北海道空知郡南幌町議会の視察研修

台湾屏東県里港郷訪問団来市

24 夢チャレンジ 荒場 正人さん

**Topics**

**第3回定例会**

令和6年  
9月2日から  
10月4日まで  
(33日間)

条例の改正や補正予算などの議案、令和5年度決算の認定案などが提出され、審査・審議の結果、一部陳情を除き、すべて原案どおり可決・認定されました。

**Topic1**

**人権擁護委員候補者の推薦**

**諮問第1号 適任**

**かめもと みよこ**  
**亀元美代子氏 (財部町)**

現委員である花房親志氏の任期が、令和6年12月31日をもって満了することに伴うもので、任期は3年間となります。

**Topic2**

**国民健康保険証の廃止に伴う条例の一部改正**

**議案第60号 賛成多数可決**

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利

用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布によつて被保険者証が廃止されることに伴い、被保険者証を返還しなかった場合の罰則規定の削除など、関連する規定を改正するものです。

曾於市国民健康保険条例 第11条

旧
本市は、世帯主が法第9条第1項若しくは第9項の規定による届出をせず、若しくは虚偽の届出をした場合又は同条第3項若しくは第4項の規定により被保険者証の返還を求められてこれに応じない場合は、その者を10万円以下の過料に処する。
新
本市は、世帯主が法第9条第1項若しくは第5項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をした場合においては、その者に対し、10万円以下の過料に処する。

※保険証廃止後は、マイナンバーカードと健康保険の資格情報を連携済の方はマイナンバーカードを保険証として利用できますが、未連携の場合及びマイナンバーカードを取得していない場合は、資格確認書を発行することになります。

**反対討論 (徳峰議員)** 従前の健康保険証の代わりに交付される資格確認書がいつまで使用できるのかということについて、国の方針もまだ固まっておらず、現在の本市の国保利用者のマイナンバーカードの利用率も少なく、そのまま進めると混乱を生じかねない。

**Topic3**

**令和6年度一般会計 補正予算(第3号)を可決**

**議案第64号 全会一致可決**

11億4531万円追加  
補正後予算総額  
287億9192万円

**主な歳入**

国庫支出金：民生費国庫負担金の児童手当国庫負担金を7065万円、災害復旧費国庫負担金の現年発生公共土木施設災害復旧事業費負担金を6336万円、民生費国庫補助金の地域介護・福祉空間整備推進交付金を4626万円をそれぞれ追加

県支出金：災害復旧費県補助金の現年発生農業用施設災

**主な歳出**

害復旧費補助金を7905万円追加  
繰越金：前年度繰越金を7億4439万円追加  
市債：土木債の排水路整備事業を2910万円、災害復旧債の現年発生農業用施設災害復旧費を3920万円、現年発生公共土木施設災害復旧費を5190万円それぞれ追加

財政調整基金等への積立金の追加により総務基金管理費を6億5944万円追加  
障害者医療費国庫負担金返還金等の追加により自立支援医療給付費を1540万円追加  
障害者自立支援給付費国庫負担金返還金の追加により障害福祉サービス費を1099万円追加  
地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の追加により地域介護・福祉空間整備推進事業を4626万円追加

児童手当の追加により児童手当費を6631万円追加

市道排水路工事等の追加により排水路整備事業を2910万円追加

梅雨前線豪雨等による災害発生により現年発生農地・農業用施設災害復旧費を1億3074万円、現年発生公共土木施設災害復旧費を1億1709万円追加

**総務常任委員会**

(山中雅人委員長)

**【繰越金】**

**問** 例年との比較は。

**答** ここ数年は、7億円台で推移している状況である。

**【大隅支所庁舎整備事業】**

**問** 工事費の組替内容は。

**答** 発電機設置に伴う耐火ボード設置費用の増加や移動式書庫の設置に対応するため、本体工事費から5624万円を付随建物工事費に組み替えたものである。

**意見** 今後、工事費等の予算編成においては、予算の組替え等が生じないよう、当初の

段階で正確な設計書を策定の上で十分に精査すべきである。



建設中の大隅支所庁舎

**【消防団員退職報償金】**

**意見** 消防団員の確保については、他市町村の事例も参考にしながら消防団活動の負担軽減も含めて、入りやすい消防団の在り方を研究してほしい。

**【南九州畜産獣医学拠点事業 (周辺整備事業分)】**

**問** ホーストレッキングコース整備工事の内容は。

**答** 大雨等による土砂流出が想定される勾配がきつい砂利部分を、コンクリート舗装す

る内容である。



スクラブでの現地調査 (馬厩舎前)



スクラブでの現地調査 (屋内馬場)

**問** 市民ニーズ調査対象地域と事業の方向性は。

**答** 区域の近くに商店等が少ない檜・旧高岡小学校区と大隅北・笠木小学校区エリアの1800世帯を対象に実施し、調査結果の状況を見た上で、

全市的な調査が必要か検討したい。

また、事業の方向性としては、住民がどのようなものを必要としているのかを把握し、継続可能な支援や仕組みの構築、広域的な取組の必要性などの判断材料としたい。

**【曾於市クリーンセンター 管理費】**

**問** 集合ダストコンベアチェーン購入の内容は。

**答** 焼却灰を搬送するコンベアチェーンが複数基あるが、損耗が進んでおり、1年間維持できる保証がないため、その部分を補正予算で購入し対応したい。



損耗が進んでいるチェーンのピン部分

【文教厚生常任委員会】

(岩水 豊委員長)

【地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金】

【問】 自家発電設備の設置状況は。

【答】 高齢者施設は市内に30施設があるが、未設置施設10か所のうち8か所が設置予定であり、残りの施設も検討中である。

【健康管理システム】

【改修業務委託料】

【問】 胃がん・肺がんに限定したシステム改修か。

【答】 委託先の医療機関から胃がん・肺がんの問診票について変更の連絡があり、今回はその2点について対応するが、今後、標準化が求められるので、腹部や大腸に関してこのシステムが活用できるものと考える。

【児童手当】

【問】 拡充の内容は。

【答】 支給対象年齢の引上げ、所得制限の撤廃、支給額が引上げになる。

【意見】 児童手当制度の広報に

ついて、子育て世帯に情報が行き届くよう、周知の方法を工夫してもらいたい。

Link



児童手当制度については  
こちら  
(市ホームページ  
へリンク)

【教育振興審議会委員報酬】

【問】 委員の人数は。

【答】 学識経験者を新たに2名追加するが、ほかの委員区分を調整し、委員の人数は10名から変更はない。

【文化・体育施設管理費】

【意見】 所管する施設が多くあるが、日常の維持管理が十分でないのがみられる。多額の費用が発生する前に修繕するように。



曾於市民プールでの現地調査

【産業建設常任委員会】

(測合 昌昭委員長)

【大隅南地区農業構造改善センター管理費】

【問】 屋根改修工事の内容は。

【答】 7月の下旬に雨漏りが判明したため、屋根の一部を改修するものである。避難所として指定されているため、改修を急ぎたい。

【災害復旧費の時間外勤務手当】

【問】 およそ何時間分の計上か。また、時間外勤務の発生状況は。

【答】 職員単価が違うので大まかであるが、今回の補正額はおよそ500時間分の手当に相当する。災害対応のため時間外勤務が多く発生しており、残業しなくてもよい環境を作りたいが、技術員不足もあり、困難な状況である。

【排水路整備事業】

【問】 補正の内容は。

【答】 当初は改良工事等で発生する残土を利用し整備を進める予定であったが、度重なる豪雨により被災するなどしたため、今年度で概ね工事を完

了できるように補正をお願いしたい。

【公民連携まちなか再生推進事業】

【問】 地域おこし協力隊員はどのような人材を求めているのか。

【答】 ※PPPエージェントとして活動していただきたいと思っているが、その職歴を持つ方がなかなかいないため、募集条件を絞り込みすぎないようにし、エージェントを育成していくという視点も持つて募集したい。

※PPPエージェントとは、公共部門と民間部門が協力して行う公民連携事業における両者の橋渡し役で、公共と民間の利害調整やプロジェクトを円滑に進めるためのサポートを行うことが主な役割です。

【問】 公民連携アドバイザー業務委託の内容は。

【答】 株式会社コーミンの入江氏を招き、行政向けのアドバイザーだけでなく、本市での公民連携普及のため、市民向けの講演会も実施したい。

令和6年度水道事業会計  
補正予算(第2号)を可決

### 議案第69号

全会一致可決

各種事業を前倒して実施することに伴い、収入及び支出を増額するものです。

**問** 住吉地区配水管布設替詳細設計業務委託の補正の理由は。

**答** 石綿管があることが判明し、令和7年度に測量設計を行う予定であったが、県より、国費の不用額があるため事業を前倒して実施するよう依頼があったことから、補正を行うものである。

**問** 八合原ポンプ場用地購入の補正の理由は。

**答** 用地交渉の際に、地権者から年内に登記までしてほしいと要望があったことと、補助事業採択のためには用地の確保が条件であることから、速やかに用地を購入したいため、補正を行うものである。

市長選挙と市議会議員選挙の  
同時開催を求める陳情について

### 陳情第5号

賛成少数不採択

現在、別々の選挙日となっている市長選挙と市議会議員選挙を、財政支出の削減や職員の事務負担の軽減を図るため、令和7年7月に同時開催することを求める内容であり、大隅町・財部町・末吉町の公民館長等連絡協議会会長から1321名の賛同者の署名を添えて提出されました。

本事件を付託された議会運営委員会では、本陳情について4月26日に参考人として陳情者3名の出席を求め審査を行いました。

#### 陳情者より

以前提出した同時選挙を求める陳情について、「議会での審議では納得のいく議論にはならなかった。」との多くの声が寄せられたことから、不採択となった市長選挙と議会議員選挙を令和7年7月に同時開催することについて、再度陳情することとした。

また、前回の審査において、陳情が住民の声を反映したものの判断しかねるとの趣旨の意見が聞かれたことから、今回は賛同者を募り、多くの市民が望んでいることを示したところである。同時選挙の実現に向けて議員各位の英断を強く希望する。

#### 主な意見

今回の陳情書が署名を伴って再度提出されたことは重く受け止めるものの、特別委員会での調査を経て各議員がそれぞれ決断し、結果として議会の解散に必要な数の賛成者が得られなかった現在の状況では、来年7月の同時選挙開催は実質的に難しい状況となっている。改選後の新たな曾於市議会において、今回の経緯も含めて、引き続き同時選挙開催の議論を継続していくことが必要である。

同日選挙開催の議論継続  
に関する決議案

### 発議第4号

賛成多数可決

#### 決議の内容

議会改革の一環として「市長選挙と市議会議員選挙の同日開催」について、令和4年3月に議会改革調査特別委員会を設置し、約2年間にわたり議論を重ねてきたが、議会の解散に必要な特例法に規定される出席議員の5分の4以上の賛同者が得られない結果となった。(詳細は議会だより第75号を参照。)

しかしながら、合併後20年を迎えようとしている現在において、事務負担の軽減、財政支出削減の観点から、同日選挙開催を求める市民からの声が多く存在することは、議員それぞれがあらためて認識するに至ったところである。

これらの声が多く存在することを重く受け止め、次期改選後の新たな市議会において、議会基本条例に基づく市民と共働する開かれた議会を目指すべく、議会改革の一環として、継続して同日選挙開催についての議員間の議論をさらに深めていくことを決議する。



# 令和5年度 決算審査特別委員会

- ◆ 決算審査特別委員会設置 令和6年9月18日  
 決算審査特別委員会 17人（議長・監査委員を除く議員）  
 ◎委員長 重久 昌樹  
 ○副委員長 渕合 昌昭
- ◆ 各分科会に分かれ、所管ごとの専門的な審査を行いました。（現地調査を含む）  
 総務分科会 }  
 文教厚生分科会 } 令和6年9月19、20、24、25日（4日間）  
 産業建設分科会 }
- ◆ 決算審査特別委員会 令和6年10月2日
- ◆ 慎重に審査した結果、10月4日の本会議において「認定すべき」と報告しました。

## 各会計決算額

会計名		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		305億 6,602万円	294億 492万円
特別会計	国民健康保険特別会計	56億 3,995万円	55億 3,097万円
	後期高齢者医療特別会計	6億 4,191万円	6億 3,553万円
	介護保険特別会計	62億 5,649万円	56億 8,827万円
	生活排水処理事業特別会計	7,202万円	6,970万円
水道事業会計	収益的収支	5億 7,344万円	4億 9,431万円
	資本的収支	0円	4億 3,411万円
		資本的支出額に不足する額4億 3,411万円は、過年度分損益勘定留保資金4億 493万円（減価償却費4億 493万円）、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,918万円にて補てんした。	
公共下水道事業会計	収益的収支	2億 3,611万円	1億 9,285万円
	資本的収支	1億 1,123万円	2億 1,182万円
		資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億 58万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額895万円、当年度分損益勘定留保資金7,678万円（減価償却費6,431万円、資産減耗費1,246万円）、利益剰余金1,485万円（繰越利益剰余金1,485万円）にて補てんした。	

（1万円未満切捨て。端数処理の関係で数値が合わない箇所があります。）

※収益的収支とは、施設を維持管理するための経費とその財源のことです。

資本的収支とは、施設の建設や整備・改良にかかる経費とその財源のことです。

# 総務分科会

**問** 行政改革について、今後の職員数や職員配置の動きは。

**答** 定員適正化計画の職員数の目標値については、本年度実施中の業務量調査の結果も踏まえ、行政改革推進本部会議等で改めて検討し、住民サービスが低下しないよう適正な職員配置に努めていきたい。

**問** 各支所の職員数減によるサービス低下の懸念は。

**答** 両支所完成後、業務が落ち着いた時期に改めて状況を調査していきたい。

**意見** 行政改革における大隅・財部両支所の職員配置については、庁舎完成後も実際の業務実態を把握し、住民サービスが低下しないよう最大限努められたい。



SKLV 上空から見た財部市街地

**問** 宅地分譲地整備管理事業の財部南俣地区の分譲予定地購入について。

**答** 当初、ミニ分譲地として整備・販売する計画を持っていたが、公民連携を前提とした民間との連携による進め方を模索する中で、現状として、事業の進捗が止まっている状況となっている。公民連携による財部市街地のまちづくりを進める構想については、長期的な手法とも考えられることから、公民連携で進める事業と早急にやるべき事業との棲み分けも含めて、総合的にどのような形態で進めていくべきか協議していきたい。



曾於市クリーンセンター 現地調査

**問** 曾於市クリーンセンターでのごみ収集・分別業務について。

**答** 業務に携わる方々が人員不足にならないような取組の必要性も認識している。現場で事故が起こらないよう、状況を把握し確認したい。

**意見** 直接ごみを搬入される方々も近年増加しており混雑する状況も見られることから、現状を把握し、現場での業務の負担軽減に努めるべきである。

## 生活排水処理事業特別会計

**問** 市町村設置型による浄化槽の譲渡状況は。

**答** 市町村設置型による浄化槽 1,109 基のうち設置後 10 年を経過した浄化槽について、令和 4 年度より設置年度の古いものから所有者への無償譲渡を開始し、令和 4 年度 80 基、令和 5 年度 148 基の譲渡が完了した。

**問** 公債費について。

**答** 下水道事業債については、令和 24 年度まで償還が続く。また、使用者が死亡し、空き家となった場合の対応についての質疑に対し、相続人が見つからなかった場合は休止扱いとなり、使用料は不納欠損となる。また、最終的な撤去の責任は市に出てくるが、撤去費用については今後の課題である。



# 文教厚生分科会



すえよし子育て支援センター 現地調査

**問** 放課後児童クラブについて、令和6年4月1日から安全計画の策定が義務化されたが、令和5年度の策定状況と本年度のチェック状況等はどうか。

**答** 安全計画は全児童クラブで策定されており、本年度に入ってからの実施状況の確認や見直しも随時お願いしている。安全計画の内容については、もう少し見直しが必要なところも見受けられる。

**意見** 放課後児童クラブの安全計画について、認定こども園が運営している放課後児童クラブは、職員が日頃から様々な研修を受けているので安心できるが、ほかの児童クラブでは安全計画が形がい化して機能していないところも見受けられるので、運用面での指導を望む。

また、子育て支援について、多岐にわたる悩みを持つ親が増えている。ネットツールを通じて子育て世代の悩みを吸い上げ、支援していくように。



大隅総合運動公園武道館 現地調査

曾於市立図書館本館、曾於市民プール及び大隅総合運動公園武道館を現地調査しました。

**意見** 現地調査を行った施設はいずれも老朽化が激しかったが、そのようになっているのは、現在まで現状把握の徹底や定期的な保守点検がなされていなかったがゆえにこういう結果を招いた。今の実態について徹底した検証を行い、行政としてどうするか判断するべきである。また、現に利用者もいることから、そういったことを解決しないまま単純な施設の統廃合にならないよう配慮を求める。

## 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、各都道府県の後期高齢者医療広域連合が保険者となり、保険料の制定や医療費の支払等を行っています。

**問** 給付実績が多かった疾患は何か。

**答** 1位が心疾患、2位が腎不全であった。

**反対討論** 広域連合による本特別会計の制度上の理由から、反対である。

## 介護保険特別会計

**問** 介護保険事業の今後の課題について。

**答** 介護人材不足が大きな問題で、ホームヘルパーは家に入っていくということで希望者が少なく、サービスを維持していくのが困難な状況である。また、各入所施設も人員不足のため、定員まで入居者を受け入れられない状況にある。

**反対討論** 令和3年度から5年度まで、保険料の必要以上の引上げが行われた。令和5年度決算状況を見ても、必要以上の引上げであったために大きな剰余金が生じている。こうした財政運営等には賛成できない。

# 産業建設分科会

## 現地調査を実施



整備された溝ノ口洞穴駐車場



大内田地区頭首工



コケキャンチ高之峯公園に  
再整備されたパーゴラ



令和5年度に整備されたパドック式牛舎

**問** パドック式牛舎の設置者が減少したこと、また、申請者が増えない要因について。

**答** 事前調査の段階では希望者は多かったが、4月以降の申請の段階で、子牛価格の暴落の影響を受けて実施できない農家が多かった。

**問** 自給飼料に関する取組について。

**答** 粗飼料を自給することで、コスト削減にはなるが、増産するためには新たな機械導入などのコストが発生するため、農家は無理のない、できる範囲内での増産に取り組まれている。

**問** 自治会による清掃活動の減少が、市道清掃・伐採委託業務に影響を与えているか。

**答** 令和5年度は自治会清掃の範囲の見直し要望が11件あり、現時点ではシルバー人材センターや市の道路維持班の範囲を増やすことで対応できているが、今後も要望が増えると予想しているため、対応を協議していきたい。

## 公共下水道事業会計

下水道の接続状況は、接続戸数1,862戸、水洗化人口2,962人で、処理区域内人口4,000人に対し74.04%の接続率となっています。

**問** 下水道の接続率について。

**答** 当初の目標が70%であったので、目標は達成されている。維持管理の面や接続率の上昇を仮定すると、処理能力に余裕がないため、処理系統を増設することが望ましい。

## 第3回定例会で全会一致で承認・適任・可決・認定とされた案件

区分	議案番号	件名	区分	議案番号	件名
承認案	第6号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度曾於市一般会計補正予算（第2号））	議案	第67号	令和6年度曾於市介護保険特別会計補正予算（第2号）について
諮問	第1号	人権擁護委員候補者の推薦について		第68号	令和6年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）について
議案	第58号	曾於市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について		第69号	令和6年度曾於市水道事業会計補正予算（第2号）について
	第59号	曾於市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について		第70号	令和6年度曾於市一般会計補正予算（第4号）について
	第61号	曾於市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部改正について	認定案	第1号	令和5年度曾於市一般会計歳入歳出決算の認定について
	第62号	令和5年度曾於市水道事業剰余金の処分について		第2号	令和5年度曾於市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
	第63号	令和5年度曾於市公共下水道事業剰余金の処分について		第5号	令和5年度曾於市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	第64号	令和6年度曾於市一般会計補正予算（第3号）について		第6号	令和5年度曾於市水道事業会計決算の認定について
	第65号	令和6年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		第7号	令和5年度曾於市公共下水道事業会計決算の認定について
第66号	令和6年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について				

## 賛否が分かれた案件

### 議決結果一覧

迫議員は議長のため、議決に加わることはできないが、投票による表決の場合で可否同数になったときは、議長が可否を決定する（裁決権）ことになる。  
賛成「○」。賛成者のみを語る表決方法であるため、賛成者以外（反対者・態度保留者・棄権者等）は「●」としている。

議案等		議員名	山中 雅人	出水 優樹	瀬戸 恵理	矢上 弘幸	片田 洋志	重久 昌樹	鈴木 栄一	上村 龍生	岩水 豊	淵合 昌昭	今鶴 治信	九日 克典	土屋 健一	原田 賢一郎	山田 義盛	渡辺 利治	久長 登良男	徳峰 一成	結果		
議案	第60号	曾於市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決	
認定案	第3号	令和5年度曾於市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	認定
	第4号	令和5年度曾於市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	認定
陳情	第5号	市長選挙と市議会議員選挙の同時開催を求める陳情書	●	●	●	●	●	●	●	欠席	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	不採択
発議	第4号	同日選挙開催の議論継続に関する決議案	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	可決

## 報告のあった案件

区分	番号	件名
報告	第4号	令和5年度曾於市健全化判断比率の報告について
	第5号	令和5年度曾於市生活排水処理事業特別会計資金不足比率の報告について
	第6号	令和5年度曾於市水道事業会計資金不足比率の報告について
	第7号	令和5年度曾於市公共下水道事業会計資金不足比率の報告について

## 審議未了となった案件

陳情	第8号	（刑事訴訟法）再審の改正を求める意見書の提出を求める陳情
----	-----	------------------------------

総務常任委員会に付託された上記事件は、結論に至らず、本会期をもって審査を終了することとなり、その結果審議未了となりました。

# 市政を問う

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。

一般質問  
9名の議員登壇

## ◆令和6年9月5日

1. <sup>とくみね かずなり</sup>徳峰 一成 (日本共産党) ..... P12  
○市民の暮らし守れの取り組みを ○PFAS 汚染、市は対策を
2. <sup>かみむら たつお</sup>上村 龍生 (創政会) ..... P13  
○各種事業費の財源としての地方債 ○子育て支援策
3. <sup>つちや けんいち</sup>土屋 健一 (そお幸喜会) ..... P14  
○農地の将来

## ◆令和6年9月6日

4. <sup>かただ ひろし</sup>片田 洋志 (れいわ会) ..... P15  
○五位塚市政 ○本市の計画中であるコンパクトシティ  
○大隅、財部各支所とともに建設される図書館
5. <sup>やがみ ひろゆき</sup>矢上 弘幸 (れいわ会) ..... P16  
○芙蓉部隊の資料展示
6. <sup>いまづる はるのぶ</sup>今鶴 治信 (創志会) ..... P17  
○高岡小学校跡地利用 ○クリーンセンターの管理

## ◆令和6年9月9日

7. <sup>せとぐち えり</sup>瀬戸口 恵理 (さくら会) ..... P18  
○環境に配慮した持続可能な政策 ○学校の働き方改革と子どもの学びの機会の確保  
○財部中央公民館の改修ときらめきセンター
8. <sup>やまなか まさと</sup>山中 雅人 (さくら会) ..... P19  
○曾於市の公民連携 ○公共温泉の管理 ○自治体広報のあり方  
○国道・県道の拡幅と県との関係強化
9. <sup>いわみず ゆたか</sup>岩水 豊 (新生会) ..... P20  
○伐採及び伐採後の造林 ○小中学校規模適正化

( ) 内は会派または政党名を記載しています。



Link



一般質問の録画

Question

## 市民の暮らし守れの 取り組みを

Answer

市長／市民の命と暮らしを守り  
努力したい



とくみねかずなり  
**徳峰一成**  
(日本共産党)

市民の暮らし守れの  
取り組みを

**問** 本市の市民所得は、近隣の自治体に比べて低い。なぜ低いのかを分析して、中長期の計画を立てるなどの取組強化を要求したい。

**企画政策課長** 詳細なデータを分析して取り組みたい。

一人当たり所得の比較

曾於市	234万3,000円
都城市	268万7,000円
三股町	239万6,000円
志布志市	252万5,000円
大崎町	260万8,000円

※9月5日の市長答弁より

**問** 1万5068人の年金受給者の中で、80万円以下は5219人と多い。数字上は生活保護受給申請ができる。しかし、生活保護を受給する高齢者は161世帯と少ない。他自治体に比べても少ない。今後、多くの受給申請対象者に、周知の徹底を要求したい。

**市長** 広報紙を使った取組と相談には積極的に臨みたい。

年金受給額の区分と受給者数

50万円以下	2,208人
50～80万円	3,011人
80～130万円	5,482人
130～200万円	2,982人
200～250万円	923人
250万円以上	462人

※9月5日の市長答弁より

**問** 一人暮らしなどの身寄りのない高齢者は、5095人と多い。市は本人への聞き取りをはじめ、もっと意見や要望を聞くべきではないか。

**保健課長・福祉介護課長** 今後、調査の方法を研究しながら、前向きに取り組むたい。

**問** 市内の小売店は280事業所に減少している。しかし、後継者が何人いるかを調べていない。小売店の実態把握を行い、中長期の計画を立てて取り組むことを要求したい。

**商工観光課長** 来年度当初に調査を行い、中長期の方針を立てて取り組みたい。

P F A S 汚染、市は対策を

**問** 発がん性が指摘される有機フッ素化合物(PFAS)について、対策を聞きたい。

**市長** 2人の副市長をキヤップに、横断的な組織を立ち上げたい。

**総務課長** 市民に分かりやすい形で、周知を行いたい。

**水道課長** 来年度当初予算で、水道水、集落水道の検査を行いたい。

ちょっと  
ひとりごと

市民の暮らしを知るには、職員が市民を訪問して、意見や要望を聞くことが不可欠。



### Question

## 修学旅行費の 全額補助について

### Answer

教育長／教育面からの考察も必要で、個人的には全額補助をしてほしいと考えている」

### Link



一般質問の録画

各種事業費の財源  
としての地方債

**問** 各種事業費で当該年度に執行残が出た場合の処理について、今年6月の南日本新聞の記事で、奄美市で執行残の不適切な取扱いを行ったとして職員が処分された事案があった。①減額補正を行わなかったこと、②工事費計上を行わなかったことによる現職課長の処分である。この事案に対する副市長の見解は。

#### 大休寺副市長

本市では考えられない事案である。本市では執行残が出た場合、減額補正と工事費計上を必ず行っている。

**問** 奄美市の事案は、全額執行残という特殊事案であったが、これは通常の工事費等の執

行残についても同じか。

**大休寺副市長** 同じである。

#### 子育て支援策

**問** 給食費の全額補助が今年度から実現して保護者の方々も喜んでいる。その中で、給食費が途中で他の経費に使われる事はないのかと心配する声があるが現状は。

#### 教育総務課長

給食費の補助金は、保護者を經由せず直接給食センターに振り込まれており、他の経費に使われる心配はない。

**問** 市内の全小学校・中学校に修学旅行費の全額補助を行った場合の合計試算額は。

**教育長** 2281万8048円となる。



美味しい給食を

**問** 修学旅行費の全額補助については、単なる子育て支援にとどまらず、修学旅行費未納者に対するいじめがあるという話も聞いており、全体的な教育問題にもなっている。

修学旅行費の全額補助に対する教育長の見解は。

**教育長** 個人的には、いじめ問題や保護者対

応・教育問題を考えると、全額補助をしていただきたいと考えている。しかしながら、現実的には財源の問題等クリアしないといけない問題もあると認識している。

ちょっと  
ひとりごと

もう少し  
子育て支援を！！



Link



一般質問の録画

Question

# 農地の将来について

Answer

市長／高齢化で担い手が減少しており将来を心配している



## 農地の将来

**問** 農家の高齢化、減少化をどのように受け止めているか。また、現在の経営体数は。

**市長** 担い手の減少は続いており心配である。現在の経営体数は1687戸で、その内65歳以下の専従者がいる経営体は551戸で全体の32.7%となっている。

**問** 曾於北部畑かん事業が令和9年度で事業が完了する。市長の思いは。

**市長** 先達の思いは引き継いでいく。経営体の減少対策を考えていく。

**問** 経営面積3ha以上は352戸で全体の20%である。さらに経営体は減少していく。現状の政策では本市の

農地8056haは守り切れない。妙案はないか。

**市長** 農業公社の事業や国・県の事業も考えていく。

畑かん事業の内訳 令和6年4月1日現在

事業名	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	総事業費 (億円)
曾於北部	1,995	2,828	218
曾於東部 (曾於市関係分)	920	1,404	79
大隅南	201	265	14
計	3,116	4,497	311



荒廃する山間地の田



曾於北部 (谷川内ダム)

**問** 山間地の農地は山林へ積極的に転用すべき。放牧地も考えられる。畜産経営者は最たる土地利用型農業者であるので、これ以上の減少をくい止める策を求め。また、農業公社の事業に人材派遣の業務も含めたらどうか。今後はもっと外国人の人材が必要と考えるが。

**市長** 質問の背景も実態も理解している。

畜産 (牛) の状況

令和6年1月1日現在

種別	経営体数 (戸)	飼育頭数 (頭)	平均飼育頭数 (頭)
肉用牛生産	584	11,417	19.5
肉用牛肥育	42	13,616	324.0
乳用牛	8	413	51.6
計	634	25,446	395.1

ちょっとひとごと

担い手は減っても大地は残る



Question

五位塚市長は、次期市長選挙に立候補する予定か

Answer

市長／再度、挑戦したい

Link



一般質問の録画

五位塚市政

**問** 次期市長選挙に立候補するようだが、次の市政をどう考えているか。

**市長** 人口減少対策を行い、農業の基盤を作り、都城市等のベッタウンとしてのまちづくりを考えている。

**問** 福祉における子育て世代、高齢者、低所得者への支援について十分な成果があったか。

**市長** 切れ目ない子育て支援の体制強化、産後ケア事業やこども医療費（高校生まで）の無償化等の実施、高齢者支援は、75歳以上に敬老祝金支給、100歳を迎える方へのお祝金支給、補聴器購入補助の実施で成果が上がっている。

**問** 今日の物価高について、生活困窮者の支援策として、今年度1

回と来年度2回で対象者を絞った商品券支給を検討できないか。

**市長** 営農者支援等も含め検討する。

**問** 就学前子育て世帯への支援として、預かり保育料、延長保育料、主食費、副食費等の児童福祉施設に支払う費用の軽減を検討できないか。

**市長** 検討する。

**問** 買物弱者への支援を目的とする移動販売事業を検討中のようにあるが、今後、永続的に事業展開できるように検討しているか。

**市長** 2つの地域にアンケートを実施予定で、永続的に事業展開できるように検討していく。

本市の計画中であるコンパクトシティ

**問** 本市が計画中であるコンパクトシティとはどのようなまちづく

りか。

**市長** 住まい・交通・公共サービス・商業施設などの生活機能を集約し、効率化してまちの構造を見直し、コンパクトなまちづくりと連携した公共交通ネットワークを形成することを目指している。

**問** コンパクトシティにより見込める効果はどのようなものがあるか。

**市長** 住宅や商業施設等を近くに配置し、移動時間の短縮、交通利便の増、医療・教育、公共交通等の公共サービス提供の効率化により、生活環境の向上等が見込まれる。

大隅、財部各支所とともに建設される図書館

**問** 大隅・財部に建設するに当たり、参考自治体の図書館の検討、図書館会議等の意見をもつてできる図書館は、

今までとは何が変わるか。

**教育長** 佐賀市立図書館久保田館、出水市立高尾野図書館を参考にし、利用者の要望があった学習スペースや読み聞かせコーナーの充実を図った。



参考にした出水市立高尾野図書館  
写真左側が支所庁舎、奥が図書館

ちょっとひとりごと

物価高騰  
市民救うは

.....



Link



一般質問の録画

Question

## 芙蓉部隊の資料館を 設置したらどうか

Answer

市長／教育委員会を中心として、  
今後の在り方を検討したい



やがみ ひろゆき  
矢上 弘幸  
(れいわ会)

芙蓉部隊の資料展示

問 過去5年間の埋蔵文化財センターの利用者数は。

教育長 次のとおりである。

過去5年間の埋蔵文化財センターの利用者

令和元年度	374人
令和2年度	762人
令和3年度	481人
令和4年度	491人
令和5年度	468人

問 隊員の手紙など貴重な資料は、適切な温度や湿度の管理をしないと劣化が進むのでは。

教育長 温度と湿度の管理をすると予算もかかるので、現在は対応していない。

問 芙蓉部隊の資料展示を見ると、戦争してほしいいけないことはも

ちろん、隊員の手紙では家族の大切さ、命の大切さを気付かせてくれる。いじめや虐待もなくなるのではないか。

市長 日本は原子爆弾を受けた唯一の国。絶対戦争をしてはいけない。平和教育は非常に大事だと思っている。



埋蔵文化財センター内の芙蓉部隊の資料展示

問 地下発電所跡は梅雨から秋までは雨水が溜まり、24時間排水している。文化財の保護に對してどう考えているか。

市長 文化財を個人で守っていることに感謝

の気持ちでいっぱいである。雨漏りを含めて行政として支援すべきものは前向きに検討したい。



雨が多いときは膝下まで水が溜まる地下発電所跡

問 戦争当時を知る方も少なくなり、遺族が遺品や資料を廃棄する報道もある。資料館を作れば遺族からの遺品提供も増えるのではないか。また、ほかの資料館も年間1万人は来館者がある。大隅も盛り上がるのではないか。

市長 芙蓉部隊関係の資料など、貴重なものがあり、それを活かしていくのは大事。教育

県内外の資料館の入館者数と展示資料点数（令和5年度）

	所在地	入館者数	資料点数
知覧特攻平和会館	南九州市	33万人	6,000点
鹿屋航空基地資料館	鹿屋市	6万人	3,000点
万世特攻平和祈念館	南さつま市	1.3万人	1,000点
ひみつ基地ミュージアム	熊本県錦町	1.2万人	160点

委員会を中心として、今後の在り方を検討したい。

ちょっと  
ひとりごと

芙蓉部隊の  
資料館設置で  
大隅も活気付く！



Question

高岡小学校跡地の一部にジビエ解体処理施設を建設できないか

Answer

市長／財部学校給食センター跡地に設置できないか検討している

Link



一般質問の録画

高岡小学校跡地利用

問 過去3年間の有害鳥獣駆除によるイノシシの捕獲頭数は。  
市長 次のとおりである。

イノシシの捕獲頭数

年度	捕獲頭数
令和3年度	950頭
令和4年度	2,034頭
令和5年度	1,837頭

問 高岡小学校跡地の一部にジビエ解体処理施設を設置できないか。  
市長 財部学校給食センター跡地に設置できないか考えている。

問 イノシシの捕獲頭数が倍近く増えている。現在、市内に処理施設がないため、有効利用されずに廃棄されているものもある。個人が設置するには、初期費用がかなりかかる。有害鳥獣駆除隊や各地区

の猟友会等の意見を聞いて、市内にぜひジビエ解体処理施設を設置すべきではないか。  
市長 具体的にどのくらいの費用がかかるか試算はしていないが、初期費用は既存の施設を活用すれば抑えられると思う。今後、関係者の意見を聞いて設置を検討する。

クリーンセンターの管理

問 過去5年間の焼却ごみ・リサイクルごみの総量は。  
市長 次のとおりである。

焼却ごみ・リサイクルごみの総量

年度	総量
令和元年度	8,518t
令和2年度	8,514t
令和3年度	8,403t
令和4年度	8,295t
令和5年度	7,934t

問 末吉環境センター（末吉・財部）の委託料は。  
市長 令和6年度の契約は、末吉地区は可燃・不燃・資源ごみを5人で313か所を収集し、契約額は6387万円。財部地区は可燃・不燃ごみを4人で149か所を収集し、契約額は1492万円である。

問 正社員が当初の12人から8人に減り、収集作業を2人体制から1人で行わないといけなくなつたため、時間的・体力的にかなりの負担になっている。ストックヤードの資源ごみの搬出作業にも支障が出ている。クリーンセンターの現場状況を把握しているか。

市長 委託契約の内容を再度確認し、作業事故等の発生で業務に支障が出ないように調査・指導する。



ペットボトルのストックヤード

ちょっとひとりごと

安心・安全な  
ゴミの収集を！





一般質問の録画

# 生物多様性地域戦略の策定の進捗は

市長/環境基本計画の中間見直しである  
2026年までに策定予定



せとくち えり  
瀬戸口 恵理  
(さくら会)

環境に配慮した  
持続可能な政策

**問** 環境配慮型の持続可能な農業を主流化する政策導入が進展しており、農水省の全ての補助事業等に対して、環境負荷軽減のクロスコンプライアンスの導入も始まった。オーガニックビレッジ宣言をする考えは。

**市長** 早急に取り組めないため、現時点での予定はない。

学校の働き方改革と  
子どもの学びの機会の確保

**問** 学校活動支援員の配置は適正か。慢性的な人員不足の原因は。

**教育長** 学校からの配置希望者数に比べられず、定員に採用数が満たない状況もあり、勤務のない8月が無給になることも原因である。

**問** 児童クラブでは夏

休みの長時間預かりが大変だと聞く。専門的知識のある支援員が働けば、双方にとってメリットが大きい。こども未来課と連携できないか。

**市長** そのようにしたい。

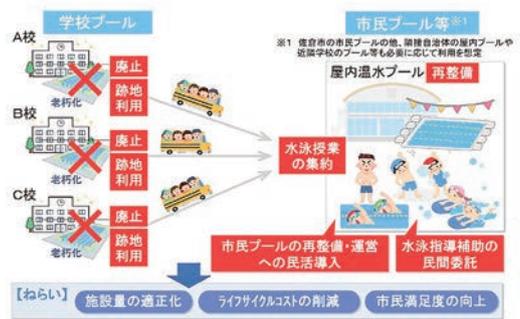
**問** 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）は。

**教育長** 来年度、県の事業を活用して段階的に配置予定である。

**問** 学校プールの維持費は。維持費や管理時間を考慮し、民間委託の検討を。

**教育総務課長** 昨年度、維持管理に約550万円かかった。今後、老朽化への大幅改修に約3億円かかる。

**教育長** 来年度、小規模校から民間委託を始めた。



民間との連携で双方にメリットが  
(千葉県佐倉市のホームページより)

財部中央公民館の改修と  
きらめきセンター

**問** 図書館が中央公民館2階に移動されることに住民から不安の声が届いているが。

**市長** 複合施設として利用者の利便性を考慮して2階に設置するが、室内階段のほか、新たにエレベーターや外階段も設けて動線を工夫し、行きやすい構造にする。

**問** きらめきセンターの現状と今後は。

**市長** 建設に伴う駐車場利用制限は令和8年2月末まで。空調設備の不具合により夏場の利用は難しい。ほかに修繕箇所が多数あるため、今後、長寿命化の大規模改修が必要である。



財部支所庁舎と中央公民館の外観イメージ

ちょっと  
ひとりごと

「わたしをみて」  
子どもたちの  
未来のために  
先生の負担軽減の  
取組を



## Question

### まちづくり会社の立上げを

## Answer

市長／市営住宅事業は特別目的会社を予定している

## Link



一般質問の録画

### 曾於市の公民連携

**問** 桜ヶ丘住宅建設の際に※PFI事業が予定通りの構想で進まなかった理由は。

**市長** 応募事業者が1者のみで競争性がなかった。過去の施工実績などの参加資格を緩和する必要がある。

※PFI（ピーエフアイ。プライベート・ファイナンス・インシニアチブの略）とは、公共事業を実施するための手法の一つで、民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法です。

### 公共温泉の管理

**問** 現在、財部温泉の無償譲渡の議論が起きているが、本市は財部温泉の個別計画は策定しているのか。

### 財政課長

財部温泉個別の管理計画はないところである。

**問** 財部温泉は1億5000万円を超える評価額の施設であり、無償譲渡の検討も含めて管理計画の策定の必要性は大きいのではないか。

**市長** 無償譲渡は相手があることなので難しいが、基本的な方針に関しては議会とも共有したい。

### 自治体広報のあり方

**問** 都城市では市長自らユーチューブで移住政策の動画をアップしている。本市でも市長や課長が直接情報発信できないか。

### 市長

情報発信がまだまだ弱く、強い要望があればユーチューブなどで頑張ってみたい。

### 国道・県道の拡幅と県との関係強化

**問** 県道2号線は正ヶ峯から都城市に入る際、大型車の往来は危険を感じるほどであり、都城市に入ると急に整備状況が良くなっている。同様に、国道269号線も都城市に入ると歩道・路面状況共に良くなっている。県に陳情を行っているのか。

### 土木課長

県道2号線は基幹道路であり、大型車の往来も多く、同様の問題意識から県に要望を行っているところである。

本市のみ推薦されなかったと聞くが理由は。

**市長** 県知事を選ぶのは県民であるとの考えからである。市長有志の市長懇談会が塩田知事を推薦されたと聞いている。



国道269号線 一部歩道が途切れている

ちょっとひとりごと

県との円滑な関係性を持てるように





## Question

# 小中学校の統廃合についての見解は

Answer

教育長／小規模校同士の統合はしない



### 伐採及び伐採後の造林

**問** 伐採の届出件数は、  
**市長** 昨年度は854  
件の届出があった。

**問** 伐採完了の報告件  
数は、

**市長** 259件、伐採  
後の造林報告は36件と  
なっている。

**問** 伐採作業による土  
砂流出等の苦情は、昨  
年どれだけあったか。

**市長** 土砂流出による  
件数が6件、道路等の  
破損が4件あった。

**問** 森林法により報告  
が義務付けられている  
が、伐採後の報告・再  
造林の報告が非常に少  
ない。伐採による被害  
をなくすように指導を  
徹底し、適正な森林保  
全に努めるように要望  
する。

### 耕地林務課長

令和4  
年度の報告書の未提出  
が799件、令和5年  
度が595件ある。適  
正な伐採と報告をする  
ように指導していく。

### 小中学校規模適正化

**問** 市内の小中学校の規  
模は、

**教育長** 資料2のお  
りである。特徴として  
半数以上の小学校が2  
学級、3学級の規模で  
あり、教育活動や職員  
配置等で厳しい状況で  
あると認識している。

### 資料1

※文部科学省の基準による分類は、  
特別支援学級を含めて以下のとおり。  
大規模校・・・25～30学級  
適正規模校・・・12～24学級  
小規模校・・・6～11学級  
過小規模校・・・1～5学級

令和6年5月1日時点

### 資料2

分類	小学校		中学校	
	数(校)	学校名	数(校)	学校名
適正規模校	3	末吉小、岩川小、財部小	1	末吉中
小規模校	3	諏訪小、深川小、柳迫小	2	大隅中、財部中
過小規模校	11	櫛小、岩北小、岩南小、 光神小、菅牟田小、笠木小、 大隅北小、恒吉小、月野小、 財部南小、中谷小	0	-
計	17		3	

※特別支援学級を含む。小学校の適正規模校は、特別支援学級を除くと末吉小学校のみとなる。

### 問 小中学校の統廃合 についての見解は。

**教育長** 基本的な考え  
方としては、地元住民  
の合意がないまま一方  
的な行政主導による統

廃合は行わない。小規  
模校同士の統合はせず、  
末吉・大隅・財部小学  
校の3校に統合すること  
を基本方針と考えて  
いる。



大隅町の拠点となる岩川小学校

ちょっと  
ひとりごと

適正な  
山の伐採・  
再造林を  
進めよう。

# 産業建設常任委員会閉会中所管事務調査報告

## ◆調査地及び調査事項

- (1) 北海道札幌市…市民農園制度を活用している先進自治体の視察
- (2) 北海道余市郡余市町…6次産業の推進に取り組む先進自治体の視察

◆調査期間 令和6年7月3日(水)～5日(金) 3日間

## ◆調査内容

### (1) 北海道札幌市

今回視察をした「サッポロさとらんど」は、人と農業をテーマに、魅力的な緑地空間を提供し、市民文化の向上及び農業の振興に資することを目的とした施設で、平成7年7月に開設されています。総敷地面積は74.3haで、そのうち57haの敷地を指定管理者が管理・運営しています。

農業に対する知識や理解を深め、緑豊かな憩いの場を提供する施設として親しまれておりますが、開園から29年が経過し、入園者数は平成27年度の約72万人をピークに減少傾向にあり、施設・設備の老朽化対策や敷地・施設の有効活用、魅力的なイベントの開催など、ソフトとハード両面の見直しが急務と説明がありました。

そのような中で、同施設内の市民農園は、1区画50㎡で196区画あり、利用率は100%であります。農園の利用は毎年抽選で決めるということでしたが、直近の応募倍率は2倍程度あり、倍率は下がってきているものの、札幌市民から一定のニーズがあることが伺えます。



サッポロさとらんど内の収穫体験場

このほか、札幌市内では令和4年度実績で23の市民農園があり、平均利用率は76%と説明がありました。札幌市としては、遊休農地の活用の面から一定の効果を見込んでおられました。

本市においても、「農業普及・啓発事業として、国の補助等やPFIを活用し、土とふれあう市民農園制度について考えてみてはどうか」「市民農園制度は都城盆地を対象とした交流人口増対策の一つになるのではないかと」いった意見がありました。

### (2) 北海道余市郡余市町

余市町は、道内でも有数のフルーツの産地となっておりますが、昭和40年代に果物価格の下落があり、この対策として加工品の製造や、地域に適した品種を見出すなど努力を重ねた結果、今ではワイン用ブドウの一大産地としても注目を集めております。

町としては、構造改革特区法に基づく「北のフルーツワイン王国よいちワイン特区」の認定を受けた結果、酒税法上の優遇措置が受けられるようになり、平成22年には2件しかなかった醸造免許取得者が、令和5年には21件に増加し、現在では19件のワイナリーがワインの生産に取り組んでいます。

町独自の農家・生産者支援として、「6次産業化体制整備支援」、「Webサイト整備支援」を行うほか、「原材料生産力強化事業」として、海外市場を見据えたワイン生産のため、国際的に人気の高いブドウ品種への新植・改植には補助金額を増額して支給するなどの取組を行っています。

また、高品質なワイン製造のため、町で成分分析機を購入したり、ブランド力向上のためのプロモーションを積極的に行っていました。

ワインの生産に携わりたい援農ボランティアが積極的に集まることや、ワイン生産を観光資源としてツーリズムを展開している点など、交流人口の拡大のため、本市においても研究する価値があると感じました。

また、生産者と行政が協力して6次産業・稼げる農業を推進していく協力・支援体制が重要であるなど、本市の農業振興に関しても参考にすべき点がありました。



余市町役場での研修



# 総務常任委員会閉会中所管事務調査報告

## ◆調査地及び調査事項

- (1) 茨城県境町…自動運転バスの取組
- (2) 埼玉県秩父市…スマートモビリティによるエコタウン創造事業

◆調査期間 令和6年7月17日(水)～19日(金) 3日間

## ◆調査内容

### (1) 茨城県境町

境町は、近年では特に若い世代の移住促進に力を入れており、全国に先駆けて小中学校での先進英語教育の実施や北関東初のPFI住宅建設など数多くのプロジェクトを先進的に打ち出しています。特に、ふるさと納税に関する施策では、リサーチに基づき、主商品となる干し芋の商品開発と生産拠点の建設に乗り出し、その利益によって建設コストを即座に償却、2022年度のふるさと納税額は、関東地方で1位の59億5,300万円となり、財政面においても驚異的にV字回復するなど、自ら稼ぐ仕組みを実践している町として全国から注目が集まっています。今回は、2011年から開始している自治体初の自動運転バス事業の取組を中心に事務調査を実施しました。

事業開始の背景としては、鉄道駅が町内にないことから過疎化が進み、交通事業者の事業の継続性や高齢者等の交通弱者への対策が議論される中、先進的なデジタル技術による持続可能なまちを目指し、町長の早い行動力に加え「行政」と「民間」の垣根を超えた信頼関係の構築により、全国に先駆けて公道での定時・定路線の自動運転バスの運行が実現したとの説明でした。

運営コストは、ふるさと納税と国の補助金を原資とし、自治体からの持ち出しはゼロ、また、乗車料金は無料で、現在は市街地を2路線で運行しています。

このデジタル技術を導入したことにより、運行開始から1年半で総額8億5,000万円の経済効果と雇用の創出、境町への集客や知名度向上に大きな成果が生み出されています。また、このデジタル技術を町に浸透させるための様々な取組により、町民もバス停敷地の提供や路上駐車場の減少など、事業の導入には理解を示し、運行管理者や地域商社であるまちづくり公社も含めた官民連携の体制が確立されていました。



実際に運行されている自動運転バス

### (2) 埼玉県秩父市

秩父市は、山間部における交通・物流の不便な地域が多く点在し、物資輸送の新たな手法の構築や、買い物、通院も含めた地域支援策として、デジタル技術を活用する取組を先進的に展開されています。今回は、隣接する横瀬町と広域的に取り組んでいる災害時のドローン配送、AI デマンド交通、観光 MaaS (マース (Mobility as a Service) は、鉄道やバスなどの公共交通機関とレンタカー等の移動サービスを組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行えるサービスを指し、観光 MaaS は主に観光客を対象に、観光地までの移動と各観光施設間の往来に必要な移動手段を一括で提供する MaaS の形態のひとつ。) の各種サービスによるエコタウン創造事業を中心に調査しました。

この事業は、両自治体で実装中のサービスを拡充することにより、開発に伴うコスト軽減や効率化、採算性を高める取組であるとともに、収集したモビリティ位置情報などを集積したデータ連携基盤システムを構築し分析することで、災害時や地域交通施策、観光施策などに活用していくことを目指しています。



秩父市役所での研修

このほかにも、秩父市の全国に先駆けたドローン輸送や遠隔医療、共同配送サービス等に関する取組は、自治体や多くの企業、大学等の研究機関等で連携した協議会を中心とする事業体制により、人と物の移動の困難さに着目した中山間地域全体の「物流・交通ネットワーク」の構築に向けて、国の支援の下、実装に向けて積極的に事業を展開されていました。

今後、これらの先端技術の導入が、地域課題を抱える全国の自治体の課題解決策のモデルとして、大いに展開されていく可能性を確認しました。

## 議員研修

### 令和6年度市町村政研修会に参加

鹿児島市長会、鹿児島県市議会議長会、鹿児島県町村会、鹿児島県町村議会議長会、(公財)鹿児島県市町村振興協会が主催する「市町村政研修会」に出席しました。

■令和6年8月1日(木) 13:30～

■講演①:「震災時の対応・危機管理について」

講師: 関西大学特別任命教授 社会安全研究センター長 かわた よしあき 河田 恵昭 氏

■講演②:「地域経済とレジリエンス～持続可能で幸せな鹿児島へ!～」

講師: 大学院大学至善館教授 幸せ経済社会研究所所長 えだひろ じゅんこ 枝廣 淳子 氏



震災時の対応や危機管理の基本、効果的な危機管理について、阪神・淡路大震災や東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等の事例をもとに学び、今後直面する可能性のある南海トラフ巨大地震時の課題や対応について考えを深めました。

地域経済とレジリエンスについては、持続可能な未来に向けて、新しい経済や社会の在り方、幸福度、レジリエンス(しなやかな強さ)を高めるための考え方や事例について学びました。

## 北海道空知郡南幌町議会の視察研修

### S K L V(南九州畜産獣医学拠点)を視察研修

■令和6年10月10日(木)

北海道空知郡南幌町議会の議員6名及び議会事務局職員1名が、企業版ふるさと納税に関する視察研修のため、S K L V(南九州畜産獣医学拠点)を訪れました。



## 台湾屏東県里港郷訪問団来市

### 台湾屏東県里港郷との交流促進

曾於市と台湾の屏東県里港郷は、令和5年5月に国際交流促進覚書を締結しています。

■令和6年10月17日(木)



歓迎レセプション

写真右/林 綿顯 郷民代表会主席(議長)

写真左/追 杉雄 議長

里港郷の郷長をはじめとする訪問団の方々が曾於市を訪れ、交流を深めました。

お互いの社会・産業・教育・文化などの実情や相互理解を深めるため、昨年度より訪問調査が始まっており、今回、里港郷の訪問団を歓迎し、さらに交流が発展しました。

鹿児島伝統の遊びである「なんこ」を行い、親睦を深めました。

「なんこ」は対戦者2人が向かい合い、10cm程の木の棒(なんこ棒)を3本後ろ手に持って座り、片手に1本～3本持って互いに前に出し、2人の合計を当てあうゲームです。

里港郷と曾於市それぞれの代表者が勝負し、白熱した試合を繰り広げました。



「なんこ」大会





# 夢 チャレンジ



趣味は音楽。南部九州新民謡の会の仲間と、曾於市オリジナル民謡「そおはら節」を作る活動も行う

ザ・繋ぐ工房（高齢者とご家族の支援）  
荒場 正人  
電話番号：080-1280-3472  
WEB：thetsunagu.com



財部町の荒場正人<sup>あらばまさと</sup>さんが目指すのは「近所の頼れるに一ちゃん」…その名も「ザ・繋ぐ工房」。誰もが年齢を重ねても住み慣れた地域でいつまでも暮らせるようにと、さまざまな困りごとの解決のために日々奮闘されています。

介護福祉士やケアマネジャーの経験から、高齢者がだんだんと「今まで自分でできていたのに」や「こんな時に誰かがそばにいてくれたら」と困る場面が増えることを目の当たりにし、介護保険適応にならない部分にも手を差し伸べられたらと一念発起されました。

遠方の家族からの実家を片づけたいという要望や、施設から一時帰宅される方のサポート、ひとりでは不安な外出の付き添いなど、内容は多岐に渡ります。ときには、荒場さんが「年上女性とのデート」と称するコンサート同行の要望も。明るくユーモアあふれ、心のコもったサポートに、リピーターが絶えません。離れて暮らすご家族との橋渡しの役割を担い、いつまでも繋がってられるようにという想いは「ザ・繋ぐ工房」の屋号にも表れています。

(瀬戸口)

## 表紙によせて



青柚子はお肉との相性バッチリ

(山中)

曾於市の誇る青柚子の出荷が始まりました。曾於市は九州一の柚子生産量を誇る柚子のまちです。柚子は9月に青柚子、10月～11月にかけて黄柚子が出荷されます。今回出荷される青柚子は主に柚子胡椒となつて私たちの食卓に上ります。これから寒くなると、お鍋のお供として柚子胡椒はとても合います。スーパリーなどで見かけたらは是非手に取ってみてください。

## 編集後記

関東大震災から100年、今年1月に能登半島地震、8月には日向灘でマグニチュード7.1の大地震が起き、この夏には各地で豪雨災害、能登半島は地震復旧がままならないところに追い打ちでした。

さらに、猛暑続きで、9月が終わっても夏日を記録する日々。また、生活に密接な物価高騰と将来の生活に大きな不安を抱いた方が少なからずともいたでしょう。

議会は、9月議会の会期中に令和5年度決算審査特別委員会を各分科会で開催し、決算の精査を行ったところです。

この審査後、議会として、令和7年度予算が市民の安心安全な暮らしとなる提案を引き続き行ってまいります。

(片田)

ぜひ傍聴にお越しください！

### 第4回 定例会予定

12月6日 …………… 開 会  
12月10日～12日 …………… 一般質問  
12月20日 …………… 閉 会

私たちが作っています。

いろいろなご意見を  
お聞かせください。



下段左から  
矢上委員長・瀬戸口副委員長  
上段左から  
出水委員・片田委員・  
鈴木委員・山中委員

発行責任者

議長 迫 杉雄